

第11回 EST普及推進フォーラム実施概要

EST(Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第11回 EST普及推進フォーラム」を開催した。また、「第9回 EST交通環境大賞※」の表彰を本フォーラムの中で行った。基調講演にて地方から始まる新たな交通政策について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて地方から始まる新たな交通政策について検討した。

当日は、EST・交通環境対策について関心を持つ方々を中心に137名が参加した。フォーラム、表彰式の模様は平成30年3月5日の交通毎日新聞で記事として掲載された。また、福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議がEST交通環境大賞の大賞 環境大臣賞を受賞した旨は平成30年1月18日の福井新聞に、姫路市が優秀賞を受賞した旨は平成30年2月14日の読売新聞に、株式会社桐生再生、株式会社シントゥギャザー、群馬大学、桐生市が奨励賞を受賞した旨は平成30年2月26日の桐生タイムス、平成30年2月24日の上毛新聞に記事として掲載された。

※地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日 時:平成30年2月20日(火) 13:30~17:10
会 場:ルポール麹町「ロイヤルクリスタル」(東京都千代田区平河町2-4-3)
主 催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会、



←開催風景

広報チラシ→



「第11回 EST普及推進フォーラム」開催ご案内
地方から始まる新たな交通政策を考える



【写真】左上:自由川を走る観光列車オムニバス「MILEPS TRAIN」株式会社おひなび。右上:豊田県豊田市の豊田交通圏多摩計画に関する協議会。中央:様々な交通環境の発展、姫路市が環境大臣賞を受賞した旨は平成30年1月18日の福井新聞に、姫路市が優秀賞を受賞した旨は平成30年2月14日の読売新聞に、株式会社桐生再生、株式会社シントゥギャザー、群馬大学、桐生市が奨励賞を受賞した旨は平成30年2月26日の桐生タイムス、平成30年2月24日の上毛新聞に記事として掲載された。左下:福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議。右下:環境大臣賞の大賞 環境大臣賞を受賞した旨は平成30年1月18日の福井新聞に、姫路市が優秀賞を受賞した旨は平成30年2月14日の読売新聞に、株式会社桐生再生、株式会社シントゥギャザー、群馬大学、桐生市が奨励賞を受賞した旨は平成30年2月26日の桐生タイムス、平成30年2月24日の上毛新聞に記事として掲載された。

EST (Environmentally Sustainable Transport:環境的に持続可能な交通)の普及促進を図るため、ESTの取組みについて講演やパネルディスカッション等で検討する「第11回 EST普及推進フォーラム」を開催します。

また、「第9回 EST交通環境大賞」®の表彰を本フォーラムの中で行います。

基調講演にて地方から始まる新たな交通政策について学び、受賞講演により優良事例を共有した後に、パネルディスカッションにて地方から始まる新たな交通政策について検討します。

EST・交通環境対策の最新情報入手し、優良事例を共有した上で、現状の課題を検討する絶好の機会となりますので、皆様の参加をお待ち申し上げます。

※ 地域の交通環境対策に関する取組み事例を発掘し、優れた取組みの功績や努力を表彰するとともに、その取組みを広く紹介し、普及を図るため、本フォーラムの主催者が平成21年度に創設した表彰制度。

日 時:平成30年2月20日(火) 13:30~17:10 (13:00 受付開始)
会 場:ルポール麹町2階「ロイヤルクリスタル」
 〒102-0093 千代田区平河町2-4-3
主 催:EST普及推進委員会、公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団
後 援:国土交通省、環境省、警察庁、一般社団法人日本自動車工業会、公益社団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会


環境的に持続可能な交通
 Environmentally Sustainable Transport

開会挨拶・基調講演

公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団、国土交通省、環境省からの開会挨拶のあと、基調講演が行われた。

○開会挨拶

岩村 敬 公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団 会長
一見 勝之 国土交通省総合政策局 次長
高澤 哲也 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長



○基調講演

「地方から始まる新たな交通政策を考える」
中川 大 富山大学副学長・京都大学名誉教授



表彰式・受賞団体講演

基調講演に続き、第9回 EST交通環境大賞の表彰式が行われ、国土交通省一見次長、環境省高澤課長、EST普及推進委員会 太田委員長から各賞授与 及び、太田委員長から審査講評が行われた。

その後、休憩の後、受賞団体から受賞団体講演が行われた。

○表彰式

一見 勝之 国土交通省総合政策局 次長
高澤 哲也 環境省水・大気環境局自動車環境対策課長
太田 勝敏 東京大学 名誉教授

【大賞 国土交通大臣賞】 WILLER TRAINS株式会社および
北近畿タンゴ鉄道生活交通改善
事業計画に関する協議会

【大賞 環境大臣賞】 福井県クルマに頼り過ぎない
社会づくり推進県民会議

【優 秀 賞】 姫路市

【奨 励 賞】 株式会社桐生再生、株式会社
シンクトウギャザー、群馬大学、
桐生市

【奨 励 賞】 弟子屈町地域公共交通活性化協議会

【奨 励 賞】 川崎市



○受賞団体講演

「人と環境にやさしい地域鉄道を目指す京丹後鉄道の取り組み」

寒竹 聖一 WILLER TRAINS 株式会社 代表取締役社長

「福井県におけるクルマに頼り過ぎない社会づくり」

平林 透 福井県クルマに頼り過ぎない社会づくり推進県民会議事務局 次長



パネルディスカッション 「地方から始まる新たな交通政策を考える」

コーディネーター：太田 勝敏 東京大学名誉教授
パネリスト：中川 大 富山大学副学長・京都大学名誉教授
黒川 優 姫路市 副市長
清水 宏康 株式会社桐生再生 代表取締役
堀江 信幸 国土交通省総合政策局環境政策課 地球環境政策室長
高澤 哲也 環境省水・大気環境局 自動車環境対策課長

【概要】

我が国の地方における公共交通の衰退は、人々移動手段の確保に限らず、自動車に過度に依存せざるを得ない状況による環境負荷の増大を引き起こしている。

今回のEST交通環境大賞では、地方鉄道の再生や自動車と公共交通機関などの共存を目指したハード・ソフト両面を組み合わせた総合的な取組み、駅前広場整備やトランジットモール化の実現、全国初の低速電動バスの導入、隣接自治体・バス事業者・町内観光関連店等の多様な団体の連携による取組みなど、地方から始まる新たな取組みが各賞を受賞した。

我が国では、直面している人口減少や高齢化社会に対応する中で、自動運転関連など交通技術の革新が進展していることから、近年、地方から新たな取組みが始められている。我々は、これらの新たな取組みを一つの事例として考えるのではなく、一連の取組みとして捉えながら根底にある原理を考えて、「新たな交通政策」として練り上げる時期にきているのではないかと考えられる。

今回のパネルディスカッションでは、前半に、優秀賞・奨励賞受賞団体の取組み内容をご発表いただき、その後、取組みに対する知識を深めた後、これらの交通が生む価値を検討した。

